

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

東京都千代田区丸の内一丁目6番1号
公益財団法人 日立財団

目 次

はじめに	1
1. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための研究助成、及び顕彰	
1.1 倉田奨励金(研究助成金)の交付	1
1.2 「ストックホルム犯罪学賞」への助成	4
2. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための海外研究者の招聘、 及び研究支援	
2.1 日立スカラーシップ事業	4
(1) 博士課程留学支援プログラム	4
(2) リサーチサポートプログラム	5
3. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための調査研究の実施、 出版物の発行、及びシンポジウム・セミナーの開催	
3.1 高尾記念科学技術公開セミナー	9
4. 幼児、児童、青少年の健全な育成に関する取組みへの支援	
4.1 横山基金事業:日立少年少女発明クラブへの助成	9
4.2 理工系人材育成支援事業	9
(1) 「日立みらいイノベータープログラム」(小学生向け)	10
(2) 理工系女子応援プロジェクト(中・高生向け)	10
5. 地域コミュニティ活動の支援	
5.1 Webマガジン「みらい」の発行	10
5.2 社会をみつめるシンポジウム	11
5.3 大好き いばらき作文コンクール(旧小平記念作文事業)	11
5.4 日立市少年少女スポーツ育成大会事業	12
5.5 地域活動推進事業	
(1) BBSモデル活動事業への助成	12
5.6 地域家庭教育支援事業	12
6. 処務の概要	13

はじめに

平成30年度は5財団が統合してできた日立財団として4年目の年となり、実施事業の確立、一部事業の見直しを行った。

倉田奨励金は第50回を迎え、社会課題の解決に資する基礎的・応用的研究と、文理融合の研究に積極的に支援、更なる拡充検討を行い、日立みらいイノベータープログラムは、テキスト類を最終化するとともに企業講師を日立グループから公募、事業として確立、理工系女子応援プロジェクトでは理工系女性のロールモデルを紹介する対談だけに限らず、ワークショップを開催し、連動企画することで情報発信を拡大、充実を図った。

1. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための研究助成、及び顕彰

1.1 倉田奨励金(研究助成金)の交付

本事業は平成29年度までに、1,355件の研究テーマに総額約23億円を贈呈し、国内の研究活動の支援を行ってきた。平成27年に日立の国内5財団が合併し、日立財団となったことを機会に、時代にあった内容への見直しを行い、助成対象分野をこれまでの学術分野から、3つの応用技術分野に変更した。社会課題解決に資する基礎・応用分野の先駆的な研究テーマと対象とし、さらに、科学技術に限らず、文理融合の研究テーマへも積極的な助成を行っている。平成30年度の実施内容は以下の通り。

(1)助成対象

国内の研究機関(博士後期課程を有する研究科及び同研究科に係る学部、または文部科学省科学研究費補助金の申請ができる法人)に所属する研究者を対象とした。ただし、国籍は問わない。

(2)助成対象分野

①エネルギー・環境、②都市・交通、③健康・医療の3分野における社会課題の解決に資する基礎的、応用的な研究とした。また自然科学と社会科学の分野横断的、融合的な研究も助成対象とした。

(3)助成金額

助成金総額は3,000万円とし、1件あたりの助成金額は100万円程度(上限300万円)。

(4)募集方法

募集案内を当財団ホームページに掲載し募集した。募集期間は平成30年6月30日～9月20日とした。

(5)選考委員(敬称略)

7名の選考委員による審査を行い、選考委員会にて受領候補者を選定した。

- ・選考委員長 大西 隆 豊橋技術科学大学 学長
- ・選考委員 小豆畑 茂 日立製作所名誉フェロー
- 佐久間一郎 東京大学大学院工学系研究科教授
- 城山 英明 東京大学公共政策大学院教授

須田 義大 東京大学生産技術研究所教授
 長棟 輝行 総合研究奨励会コーディネーター、東京大学名誉教授
 矢部 彰 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
 ユニット長

(6)助成金の決定

大学:81校、工業高等専門学校:1校、研究機構:10機関から計226件の応募があり、平成30年12月14日に選考委員会を開催した。選考委員会で慎重かつ厳正に審査を行った結果、エネルギー・環境:12件、都市・交通:5件、健康・医療:13件の計30件(内、文理融合研究7件)の候補者を選出し、12月21日、理事長の決裁を得て合計3,090万円の交付を決定した。

(7)助成金の贈呈

平成31年3月1日に経団連会館において贈呈式を開催し、理事長より贈呈書の授与を行った。

平成30年度受領者30名(敬称略)

【エネルギー・環境 分野12名】

No.	研究テーマ	代表研究者	所属	職位	決定金額(円)
1356	液体ヘリウム温度以上で動作可能な希土類元素フリー強力超伝導バルク磁石の開発	石田茂之	産業技術総合研究所	主任 研究員	1,200,000
1357	Ti 添加 AlN の異常バンドギャップ狭小機構の解明と可視光光電変換材料としての最適化研究	今田早紀	京都工芸繊維大学	准教授	1,100,000
1358	河川流域と沿岸域を含めた干潟の広域土砂動態の解明と地域社会再生の一環としての干潟保全対策の検討	鶴崎賢一	群馬大学	准教授	1,300,000
1359	Before and After 手法による東南アジアにおける非電化地区への再生可能エネルギー導入の住民生活に与える影響に関する研究	大垣英明	京都大学	教授	1,000,000
1360	安定同位体比を用いて魚類の移動履歴を推定する手法の開発	太田民久	富山大学	特命 助教	900,000
1361	Clarify the formation mechanism of ZnV2O4 nanowires as anode materials for secondary battery and their structure change in charge-discharge at high current density	NGUYEN Thanh Mai	北海道大学	助教	900,000
1362	過電圧ロスのない水分解触媒配位ポリマーの開発	栗村直人	大阪大学	助教	900,000
1363	高精度数値流体シミュレーションと最適化手法によるウィンドファームの風車配置の最適化	Goit Jay Prakash	産業技術総合研究所	特別 研究員	900,000

1364	大気中の微小粒子状物質 (PM2.5) の生物化学的活性酸素産生能評価法の開発	鳥羽 陽	金沢大学	准教授	1,000,000
1365	化学的安定な n 型半導体カーボンナノチューブ素子の開発による有機熱電変換モジュールの高機能化	秦 慎一	山口東京理科大学	助教	900,000
1366	Integrated energy-environment-public health-economy assessment of the Low Emission Development Strategies (LEDS) in the major urban areas in Japan	Hooman Farzaneh	九州大学	准教授	800,000
1367	高効率金属硫化物ナノ粒子熱電変換材料の創製	前之園信也	北陸先端科学技術大学院大学	教授	1,000,000

【都市・交通 分野5名】

No.	研究テーマ	代表研究者	所属	職位	決定金額 (円)
1368	気象3要素から降雪量を把握するための手法構築	大宮 哲	土木研究所 寒地土木研究所	研究員	700,000
1369	機械学習を利用したセルフアップデータ機能を有する一般道路橋のB-WIMシステム	竹谷晃一	山梨大学	助教	800,000
1370	巨大地震被災建物における杭部材の損傷センシング技術の開発	林 和宏	豊橋技術科学大学	助教	1,300,000
1371	共生社会の実現に向けた当事者参加型バリアフリーデザインのあり方に関する研究	樋口明彦	九州大学	准教授	1,400,000
1372	コンポストトイレと傾斜土槽法による水を使わない持続可能な循環型トイレの開発～発展途上国における新しい衛生設備の提案～	樋口佳樹	日本工業大学	准教授	800,000

【健康・医療 分野13名】

No.	研究テーマ	代表研究者	所属	職位	決定金額 (円)
1373	再生医科学・再生医療における倫理的・法的・社会的問題に関する研究	赤林 朗	東京大学	教授	1,150,000
1374	薬剤耐性菌の迅速な定量プロファイリング技術の開発	今西 規	東海大学	教授	1,000,000
1375	COPD 簡易診断を目指した弾性線維エラスチン架橋ペプチドの抗原・抗体作製	臼杵豊展	上智大学	准教授	1,000,000
1376	再生組織の複合立体形成による歯の再生治療技術の開発	大島正充	国立大学法人 徳島大学	准教授	1,150,000
1377	インフルエンザウイルス感染超初期過程のナノスケールライブイメージング	大場雄介	北海道大学 大学院医学研究院	教授	1,150,000

1378	神経ペプチドシグナルを標的とした感染がんの制御メカニズムの解明と予防・治療法の開発	北村秀光	北海道大学遺伝子病制御研究所	准教授	1,000,000
1379	連続X線を用いたフォトンカウンティング法による超高精度実効原子番号のイメージング～次世代型医療用画像検出器の開発に向けた基礎研究～	紀本夏実	金沢大学大学院	博士後期課程1年生	1,000,000
1380	がん原遺伝子 KRAS に対するテーラーメイド治療のための siRNA 開発	程久美子	東京大学	准教授	1,000,000
1381	近赤外領域における高効率二光子吸収性・蛍光発光性を有する新奇ピレン誘導体の開発	仁子陽輔	国立大学法人高知大学	助教	1,200,000
1382	神経細胞膜の脂肪酸組成をターゲットとする、新規精神神経疾患治療法の開発	服部光治	名古屋市立大学	教授	1,150,000
1383	動脈硬化性疾患に影響を及ぼすトランス脂肪酸を含めた脂肪酸摂取パターンの解析	丸山広達	愛媛大学	准教授	1,000,000
1384	DNA ナノテクノロジーを駆使したマイクロ RNA 応答型デコイ核酸医薬の創製	森廣邦彦	東京大学	助教	1,000,000
1385	インプラント光デバイスを利用したがん治療	守本祐司	防衛医科大学校	教授	1,200,000

1.2 「ストックホルム犯罪学賞」への助成

スウェーデン法務省の後援を受けて、犯罪学分野の国際賞「ストックホルム犯罪学賞」が創設された。この賞は犯罪研究に優れた業績、もしくは研究結果を応用して犯罪の低減と人権の促進に貢献した方に贈られるものとなっている。ストックホルム犯罪学賞は毎年1名(共同研究の場合は複数名)の受賞者に贈呈される。初の授賞式は平成18年6月にストックホルム市庁舎で開催された。

当財団は、当初より助成を継続し、平成30年度についても100万円を助成したが、本事業は当初の目的を達成したため、平成30年度を最後として終了する。

2. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための海外研究者の招聘、及び研究支援

2.1 日立スカラーシップ事業

(1) 博士課程留学支援プログラム

自然科学分野を専門とし、博士号取得を希望するインドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムの4カ国12大学の教員を対象に日本の大学院博士課程に招聘するプログラム。

平成30年度は上期に11名、下期は9名に対し、奨学給付金の支給等の支援を行った。本プログラムは、平成29年度以降は新規募集を行わず、在学中の奨学生を博士課程の3年間支援したのち、令和2年度で終了予定。

① 奨学給付金の支給

奨学生には規定に従い、以下の奨学給付金を支給した。

- i) 帰国旅費:エコノミークラス航空運賃
- ii) 奨学金: 18万円/月
- iii) 授業料等: 実費
- iv) 住居費補助: 実費 (但し、上限4万円/月)
- v) 研修旅費(研究調査、学会参加費等): 実費
(但し、国内は上限5万円/年、海外は上限20万円/年)

② 行事

- i) 研究発表会、卒業生交流食事会
(平成31年3月26日 於 財団事務所、レストラン)

(2)リサーチサポートプログラム

日立スカラシップ事業全体をリニューアルし、平成29年度から開始した。これまで良好な関係を構築してきた東南アジアの各大学との連携を継続しつつ、科学技術の振興を通じて、社会課題解決を図ることを目的に、「エネルギー・環境」「都市・交通」「健康・医療」の3分野で基礎的、融合的研究を行う東南アジアの大学教員(研究者)を支援する。

① 平成29年度募集

平成30年4月16日に選考委員会を開催、4月20日に理事長決裁を得て、14名の採択を決定した。しかし、内2名が諸事情により平成30年度中の来日が困難となり、プログラムを辞退した。

i) 招聘者12名

【エネルギー・環境 分野 9名】

	氏名 所属大学(国)	招聘先 (研究分野) 「研究テーマ」	期間
1	Mohd Faiz Mohd Salleh マラヤ大学 (マレーシア)	静岡大学(電子工学) 「廃熱利用の熱電材料の物性測定」	3ヵ月
2	Tula Jutarosaga キングモンク工科大学 トンプリ(タイ)	国研究開発法人物質・材料研究機構 (エネルギー・環境材料) 「鉄系熱電発電材料の開発」	12ヵ月

3	Jafferi Jamaludin マラヤ大学 (マレーシア)	慶応大学(システムデザイン工学) 「次世代エネルギー管理システム」	12 ヶ月
4	Tarik Abdul Latef マラヤ大学 (マレーシア)	名古屋工業大学(電気・機械工学) 「アレーアンテナの制御技術」	3 ヶ月
5	Mohd Ridha Muhamad マラヤ大学 (マレーシア)	鳥取大学(機械宇宙工学) 「ステンレスの耐久性シミュレーション の向上」	3 ヶ月
6	Riza Yuliratno Setiawan ガジャマダ大学 (インドネシア)	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (地球表層物質循環) 「気候変動が漁港区域に及ぼす影響」	2 ヶ月
7	Mohd Hafiz Dzarfan Othman マレーシア工科大学 (マレーシア)	名古屋工業大学(生命・応用化学) 「農業廃棄物の海水淡水化への利用」	1 ヶ月
8	Winadda Wongwiriyan キングモンク工科大学 ラクラン(タイ)	信州大学(カーボン科学) 「様々な植物原料から生成したナノ カーボンキャパシターへの適用」	3 ヶ月
9	Khanh Quoc Bach ハノイ工科大学 (ベトナム)	徳島大学(電気電子工学) 「再生可能エネルギー資源の統合と 電力品質」	2 ヶ月

【都市・交通 分野 1名】

1	Chompoonoot Kasemset チェンマイ大学 (タイ)	名古屋工業大学(経営システム) 「地域社会における持続可能な交通 システム構築のガイドライン作成」	2 ヶ月
---	---	---	------

【健康・医療 分野 2名】

1	Sang Bing Ong シンガポール国立大学 (シンガポール)	札幌医科大学 (循環器・腎臓・代謝内分泌内科) 「iPS 細胞の心筋細胞への分化における ミトコンドリアのリプログラミング」	6 ヶ月
2	Eloise Infate Prieto フィリピン大学ディリマン (フィリピン)	国立遺伝学研究所(遺伝子) 「生きた細胞内でのクロマチン観察による 正常細胞とがん細胞の違いの発見」	12 ヶ月

ii) 辞退者2名

【エネルギー・環境 部門 2名】

	氏名 所属大学(国)	招聘先(研究分野) 「研究テーマ」	期間
1	Ebrahim Abouzari-lotf マレーシア工科大学 (マレーシア)	山梨大学(クリーンエネルギー) 「アニオン透過型ポリマーを電解質に用いた燃料電池」	10ヵ月
2	Ha Tran Nguyen ホーチミン工科大学 (ベトナム)	神奈川大学(物質生命化学) 「ドナーアクセプター複合ポリマーの合成」	1ヵ月

② 平成30年度募集

平成30年度は、以下の通り募集及び選考を実施し、7名の採択を決定した。

i) 招聘対象者

東南アジアの指定大学(※)に所属し、博士号をもつ大学教員で、応募時年齢が46歳未満の者。

※ 指定大学(6カ国15大学)

- タイ : チュラロンコン大学、チェンマイ大学、コンケン大学、モンクット王工科大学ラクラバン校、モンクット王トンブリ工科大学
- インドネシア: ガジャマダ大学、バンドン工科大学、インドネシア大学、スラバヤ工科大学
- マレーシア : マラヤ大学、マレーシア工科大学
- シンガポール: シンガポール国立大学
- フィリピン : フィリピン大学(ディリマン校・ロスバニョス校)
- ベトナム : ハノイ工科大学、ホーチミン市工科大学

ii) 対象研究

SDGs達成への貢献を目的とし、「エネルギー・環境」「都市・交通」「健康・医療」の3分野において社会課題の解決に資する基礎的、融合的な研究。

iii) 支援内容

支援総額は1,500万円とし、内訳は研究支援金と往復航空運賃。研究支援金は、月額18万円とし、支援期間分を支給。

iv) 支援期間

6ヵ月～12ヵ月

v) 募集方法

指定大学の事務局経由で募集。

vi) 選考時期と選考方法

平成30年 7月6日	募集開始
10月30日	募集締切
11～12月	書類選考(分野別に選考委員にて実施)

平成31年 1～2月 本人面接（事務局にて Skype で実施）
 受入教授面談（事務局にて電話で実施）
 3月4日 選考委員会
 3月6日 理事長決裁

vii) 選考委員（敬称略）

委員長 木村 孟（独立行政法人大学改革支援・
 学位授与機構 顧問）
 委員(エネ・環境) 酒井 夏子（国立研究開発法人産業技術総合研究所
 イノベーション推進本部 副本部長）
 委員(都市・交通) 須田 義大（東京大学 生産技術研究所 教授）
 委員(健康・医療) 小俣 透（東京工業大学工学院機械系 教授）
 委員 床波 忠明（公益財団法人日立財団 常務理事）

viii) 採択者7名（平成31年度に招聘予定）

「エネルギー・環境」部門 4名

	氏名 所属大学(国)	招聘先（研究分野） 「研究テーマ」	SDGs	期 間
1	Yuyun Tajunnisa スラバヤ工科大学 (インドネシア)	熊本大学(環境建設材料工学) 「フライアッシュと再生骨材を有効利用した環境負 荷低減型コンクリートのロバストネスおよび環境性 能評価」	11 13	11 カ 月
2	Siti Rahmah Aid マレーシア工科大学 (マレーシア)	九州大学(電気情報工学) 「受動冷却システムを備えた太陽光発電・熱ハイ ブリッドソーラーシステムのための高濃度ドープ Ge 光学結晶の製作に関する研究」	7 9 13	12 カ 月
3	Mohd Fadhil Md Din マレーシア工科大学 (マレーシア)	東北大学(土木工学) 「持続可能な発展目標を目指したバイオマスのハ イタン生成と応用」	7 13 15	6 カ 月
4	Phuong Hoang Vu ハノイ工科大学 (ベトナム)	長岡技術科学大学(パワーエレクトロニクス) 「GaN-FET を用いた light-to-light システム用3ポ ートハーフブリッジコンバータの実験検討」	4 9 17	6 カ 月

「都市・交通」部門 1名

1	Ching Yern Chee マラヤ大学 (マレーシア)	北九州市立大学(環境技術) 「廃水中の微量有機汚染物質とマイクロプラスチック の除去技術の開発」	6 9	6 カ 月
---	-------------------------------------	--	--------	-------------

「健康・医療」部門 2名

1	Chompoonik Kanchanabanca チュラロンコン大学 (タイ)	信州大学(代謝ゲノミクス) 「分子生理学と光化学の新アプローチ活用による 放線菌からの潜在的二次代謝産物の発掘」	3 12	12 カ 月
2	Shahira Liza Kamis マレーシア工科大学 (マレーシア)	東京工業大学(工学院機械) 「非水素化・水素化ダイヤモンド状炭素膜のトライ ボロジー性能に及ぼす関節部の滑液成分の影響」	3	6 カ 月

なお本プログラムは、平成30年度をもって募集を終了し、招聘期間が終了する令和2年度をもって終了予定する。

3. 学術・科学技術の振興及び環境保全の推進のための調査研究の実施、出版物の刊行、及びシンポジウム・セミナーの開催

3.1 高尾記念科学技術公開セミナー

東京大学生産技術研究所 教授の須田義大氏を講師に迎え、「モビリティ・イノベーション～自動運転が変える交通と物流」をテーマに実施した。

- ・日時:平成30年11月18日 13:30～15:00
- ・場所:WATERRAS COMMON(ワテラスコモン)ホール
- ・参加者:116名

当日の講演資料は当財団ホームページに掲載し、一般に公開した。

4. 幼児、児童、青少年の健全な育成に関する取組みへの支援

4.1 横山基金事業:日立少年少女発明クラブへの助成

日立化成株式会社元相談役である故横山亮次氏より贈呈された寄付金を基金として、平成14年度から、子どもたちの科学・創造性振興に貢献するプログラムとして、日立市の「日立少年少女発明クラブ」に対し助成しており、平成30年度も助成したが、本事業は平成30年度をもって終了する。

4.2 理工系人財育成支援事業

近年、「科学離れ」「理科離れ」が叫ばれる中、ものづくりやイノベーションの基盤が揺らぐことが危惧され、日本の次世代を担う理工系人財の戦略的育成が課題となっている。そうした背景を受け、平成28年度より、日立財団の注力分野である「人づくり」の柱として、中長期的視野に立った「理工系人財育成支援事業」を立ち上げ、以下の活動を行っている。

(1) 「日立みらいイノベータープログラム」(小学生向け)

理工系人財に求められる資質「創造性、探究心、主体性、チャレンジ精神」と能力「問題発見・課題解決力」の育成をめざす、小学校 5～6 年生向けのプロジェクト型探究学習プログラム。

平成30年度は、東京都中野区立緑野小学校、埼玉県戸田市立新曾小学校、茨城県日立市立河原子小学校の3校でプログラムを実施した。

(2) 理工系女子応援プロジェクト(中・高生向け)

本プロジェクトは、理工系女子への関心や理系進学へのモチベーションを喚起させる啓発活動を行い、理工系女子育成に貢献するもので、平成30年度は、以下の対談とワークショップを行った。

① 対談

理工系女性のロールモデルを招き対談を行い、女子中・高生の理工系分野への進路選択を応援する特設サイト「わたしのあした」に平成30年9月28日掲載した。

ゲスト 五十嵐悠紀 氏(明治大学総合数理学部 准教授)

聞き手 荒木由季子(株式会社日立製作所 理事)

② ワークショップの開催

対談のゲスト、五十嵐悠紀氏を講師に招き、「理工系女子応援プロジェクト 2018 未来をつくるリケジョたち！」～コンピュータグラフィックスで“好き”をカタチに～と題し、ワークショップ開催した。

・日時:平成30年8月27日10:00～15:00

・場所:WATERRAS COMMON(ワテラスコモン)ホール

・参加者:女子中学生 18名

5. 地域コミュニティ活動の支援

5.1 Webマガジン「みらい」の発行

平成30年度はテーマを「少子化社会の現状と課題」として、理事長対談記事、シンポジウム講演録、特集論文で構成し、制作した。

本事業は平成30年度をもって終了する。

(1) 理事長対談

テーマ:「パパの協力が日本を救う ～パパがゾンビにならないために～」

ゲスト:白河桃子氏(少子化ジャーナリスト、作家、相模女子大客員教授)

公開日:2018年11月15日

(2) 特集論文

テーマ：「人口減少時代の多文化共生」

① 多文化共生社会で生きる

お茶の水女子大学 基幹研究院 人文科学系 教授
加賀美常美代氏

② 人口減少社会日本を担う「外国につながりを持つ子ども」への教育支援

群馬大学 大学教育・学生支援機構教育基盤センター 教授
結城恵氏

③ 外国人コミュニティとの共生 ～これまでの経緯とこれからの期待～

ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

④ 外国人から見た日本の多文化共生

羽衣国際大学 現代社会学部 教授 にしゃんた氏

⑤ 在日外国人の社会的不適応

拓殖大学 政経学部教授 守山 正氏

公開日 2019年3月12日

5.2 社会をみつめるシンポジウム

平成30年度は「少子化時代を生き抜くために～子どもが幸せになる子育て孫育て～」と題して開催した。子どもたちの未来に視点を置き、今後必要とされるべき教育法を始め、子育て支援の方策、さらに子どもを幸福にするための制度や地域環境などについて、各界の有識者の方からお話を伺った。

本事業は平成30年度をもって終了する。

・日 時：平成30年10月30日 13:00～16:00

・場 所：日本工業倶楽部

・参加者：一般の方121名

5.3 大好き いばらき作文コンクール(旧 小平記念作文事業)

これまで小平記念作文事業は、茨城県内の小中学生を対象に実施してきたが、平成28年度に日立財団の茨城事務所を閉鎖したこともあり、平成29年度から「チャレンジいばらき県民会議(団体・企業で構成)」が主催する「大好き いばらき作文コンクール」と共催することとした。平成30年度は「わたしの大好きないばらき」というテーマで募集し、16,461点の応募があり、45点が入賞した。

「日立財団 小平記念賞」には、小学校低学年部門、同高学年部門、中学生部門から各1点選ばれ、「日立財団 奨励賞」には、小学校低学年部門、同高学年部門、中学生部門から各10点が入賞した。

5.4 日立市少年少女スポーツ育成大会事業

スポーツを通して少年少女の健全な心身の育成と、友情、連帯感を培い、犯罪や非行のない明るい社会を作ることを目的として、昭和53年から日立市体育協会と日立市スポーツ少年団と共催で実施している。競技種目は軟式野球、バレーボール、ミニバスケットボール、サッカー、バドミントンの5種目で、平成30年度は、下記日程で実施し、1,072人の選手が参加した。

7月28日、29日 バレーボール・バドミントン・ミニバスケットボール

7月29日、9月1日 サッカー

8月4日、5日 軟式野球

5.5 地域活動推進事業

(1) BBSモデル活動事業への助成

全国のBBS活動の中から、将来のBBS活動の指針となり、かつ青年ボランティアとしての特色を生かしたユニークな活動に対して、平成9年度から助成してきた。

平成30年度は下記8団体に助成した。

本事業は平成30年度をもって終了する。

① 苫小牧BBS会(札幌BBS連盟)

活動内容: 学校適応指導教室児童に対しウッドブロック体験活動実施

② 釧路BBS会(釧路BBS連盟)

活動内容: 釧路児童養護施設まリモ学園の園児とともに雄阿寒岳登山実施

③ 福井県BBS連盟

活動内容: ひとり親家庭や児童養護施設などの小学生から高校生までの子どもを対象とした学習支援およびスポーツ交流実施

④ 名古屋市立大学BBS会(愛知県BBS連盟)

活動内容: 大学近隣のこども食堂と連携し、食事提供及び学習支援実施

⑤ 名古屋南地区BBS会(愛知県BBS連盟)

活動内容: 自立援助ホーム「いっぽ」の児童に対し、スポーツ交流及び食事支援実施。

⑥ 高野山BBS会(和歌山県BBS連盟)

活動内容: 経済的困窮、不登校などにより学習に困難を抱えている子どもたちに対する学習支援実施

⑦ 徳島文理大学BBS会(徳島県BBS連盟)

活動内容: 児童養護施設「宝田寮」の児童に対し、遊び及び食事支援実施

⑧ 熊本BBS会(熊本県BBS連盟)

活動内容: 児童養護施設4施設の児童と料理作りを通して交流実施。

5.6 地域家庭教育支援事業

平成26年度末(平成27年3月末)に終了した「教室事業」に代わる事業として、家

庭教育及び子育て支援に関する講演会などを以下の通り実施した。
本事業は平成30年度をもって終了する。

- ① 講演会：子どもたちの健やかな脳発達のために
講 師：瀧靖之氏（東北大学加齢医学研究所教授 医師）
日 時：平成30年12月16日13:30～15:00
場 所：シビックセンター 3階音楽ホール
参加者：154名
- ② 講演会：ボク、学習障害と生きています～気づきからの理解へ～
講 師：南雲明彦氏（明蓬館高等学校共有コーディネーター）
日 時：平成31年2月16日10:15～12:00
場 所：日立市役所会議室
参加者：88名
- ③ 講演会：笑いで子育て論～考えよう、ニッポンの子育て～
講 師：中山まさとも・つかさ氏（夫婦漫才）
日 時：平成31年2月24日10:30～12:00
場 所：多賀市民会館 1階小ホール
参加者：98名
- ④ 放送番組：日立市行政放送番組「子育てワンポイントアドバイス」
ケーブルテレビJWAYにて放送(5分番組を2本)
出演者：飛田隆氏（茨城キリスト教大学准教授）
茨城キリスト教大学学生

6. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

(敬称略・五十音順) 平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	手 当	現 職
理事長	田中 幸二	無 給	(株)日立製作所 アドバイザー
理事	小山田 隆	有 給	(株)三菱UFJ銀行 特別顧問
〃	高萩 光紀	〃	JXTGホールディングス(株) 名誉顧問
〃	谷口 武俊	〃	東京大学 政策ビジョン研究センター 教授
〃	道垣内 正人	〃	早稲田大学 法科大学院 教授
〃	波多野 睦子	〃	東京工業大学 工学院 電気電子系 教授

〃	二宮 雅也	〃	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役会長
常務理事	床波 忠明	無 給	(公財)日立財団
監 事	内田 晴康	有 給	TMI 総合法律事務所 パートナー(弁護士)
〃	馬場 義宣	無 給	弁護士
評議員	荒井 勝	有 給	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム 会長
〃	河野 通長	〃	(株)ミチクリエイティブシティデザイナーズ 代表取締役社長
〃	白石 隆	〃	公立大学法人 熊本県立大学 理事長
〃	鈴木 教洋	無 給	(株)日立製作所 執行役常務
〃	谷本 寛治	有 給	早稲田大学 商学学術院 商学部 教授
〃	田宮 直彦	無 給	日立金属(株) 執行役常務
〃	安井 至	有 給	(一財)持続性推進機構 理事長 環境人材育成コンソーシアム 代表幹事

(2) 職員に関する事項

平成31年3月31日現在

区 分	職 務	氏 名	就任年月日	手 当
東京事務所	事務局長	山口 淳嗣	H30. 4. 1	有 給
	プログラムオフィサー	寺村 奈津季	H11. 2. 21	〃
	〃	渋谷 紀子	H14. 10. 11	〃
	〃	小野 珠実	H26. 12. 29	〃
	グループリーダー	梅本 恒紀	H21. 9. 1	〃
	経理主査	梶山 隆弘	H30. 11. 1	〃
	理事長秘書・庶務	花木 夕里夏	H30. 5. 7	〃

(3) 役員会に関する事項

理 事 会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	議事の結果
H30. 5. 2	評議員会招集の件	原案承認
H30. 6. 4	平成29年度事業報告及び決算諸表の承認の件 評議員会招集の件 理事及び監事候補者選任の件 報告事項:理事長及び常務理事の職務状況報告	原案承認
H30. 6. 4	代表理事(理事長)選定の件	原案承認
H31. 1. 22	評議員会招集の件	原案承認

H31. 2. 25	平成31年度事業計画及び収支予算の件 公益目的事業変更申請の件 定款変更の件 報告事項:理事長及び常務理事の職務状況報告	原案承認
------------	---	------

評 議 員 会

開催年月日	議 事 事 項	議事の結果
H30. 6. 4	理事及び監事選任の件 評議員選任の件	原案承認
H30. 6. 19	平成29年度事業報告及び決算諸表の承認の件	原案承認
H31. 2. 25	平成31年度事業計画及び収支予算の件 公益目的事業変更申請の件 定款変更の件	原案承認

(4) 認可・許可及び承認に関する事項

無

(5) 契約に関する事項

無

(6) 寄附金に関する事項

寄 附 の 目 的	寄 附 者	寄 附 金 額
平成30年度運営 資金	(株)日立ハイテクノロジーズ、日立金属 (株)、(株)日立システムズ、日立化成(株)、 日立キャピタル(株)、(株)日立国際電気、 (株)日立物流、(株)日立ソリューションズ、 (株)三菱日立パワーシステムズ、(株)日立ビ ルシステム他計45社・日立グループカフェ テリアプラン、個人1名	16,549,100 円

(7) 主務官庁の指示に関する事項

無

(8) 附属明細書

事業における重要な事項は平成30年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第三十四条第三項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無い。

以上